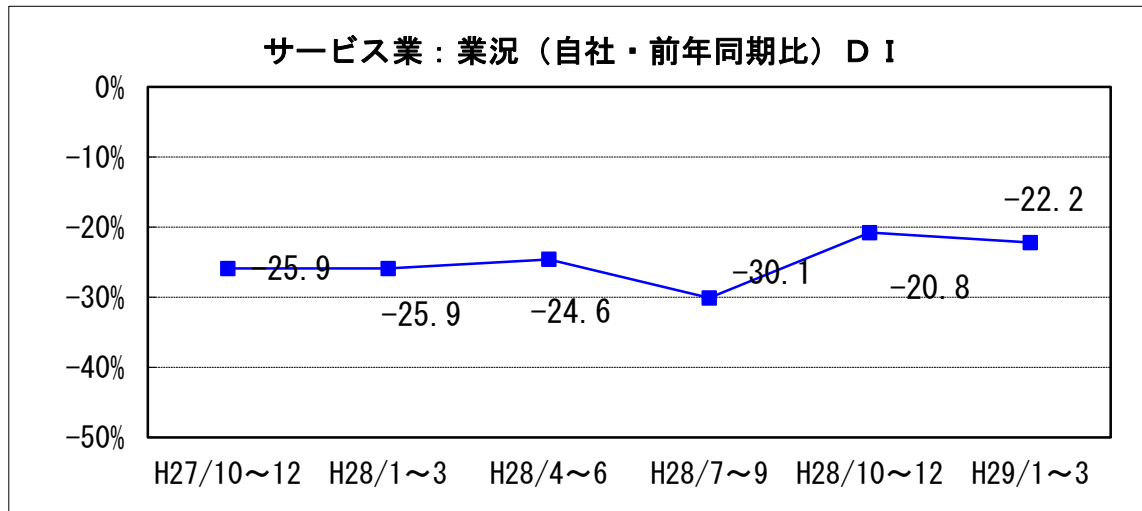


## 5. サービス業の動向

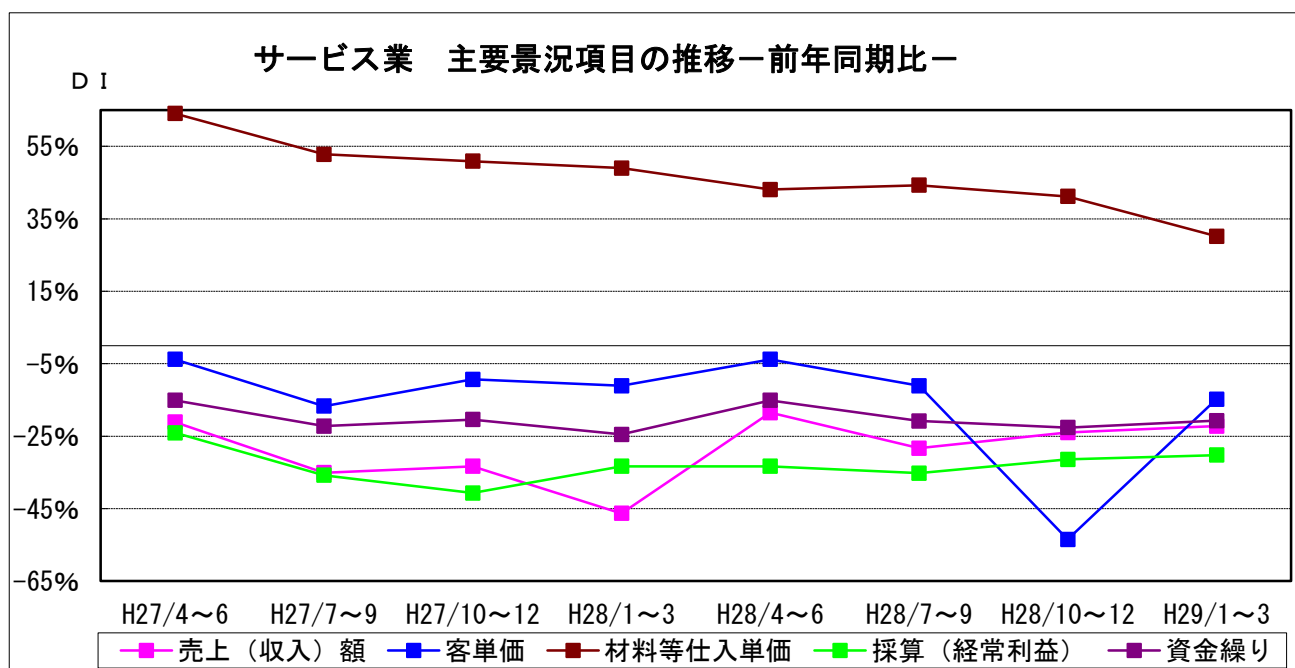
### (1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、▲22.2。前期▲20.8から下降した。来期見通しは▲18.8と上昇の見込み。



### サービス業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

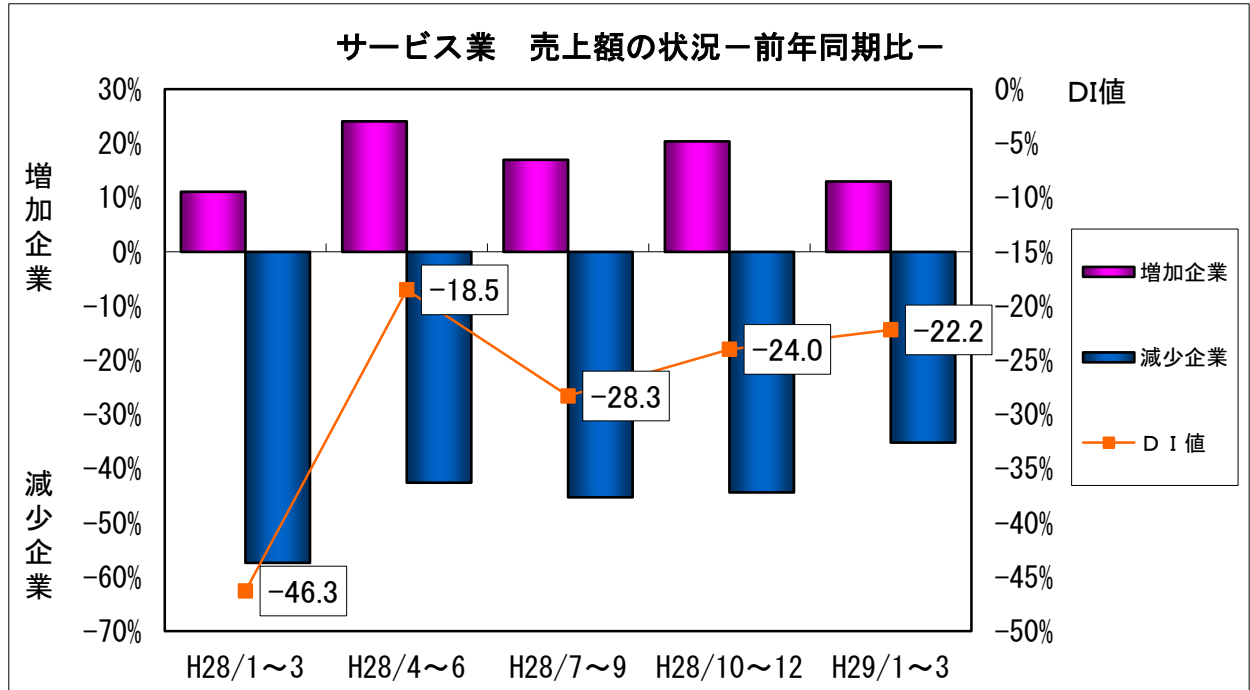
	前々期 (28年7月~9月)	前期(A) (28年10月~12月)	今期(B) (29年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上(収入)額	▲28.3	▲24.0	▲22.2	1.8	▲24.1
客単価	▲11.1	▲53.5	▲14.8	38.7	▲9.3
材料等仕入単価	44.3	41.2	30.2	▲11.0	26.4
採算(経常利益)	▲35.2	▲31.4	▲30.2	1.2	▲24.5
資金繰り	▲20.8	▲22.6	▲20.7	1.9	▲18.9



(2) 主要項目の概況

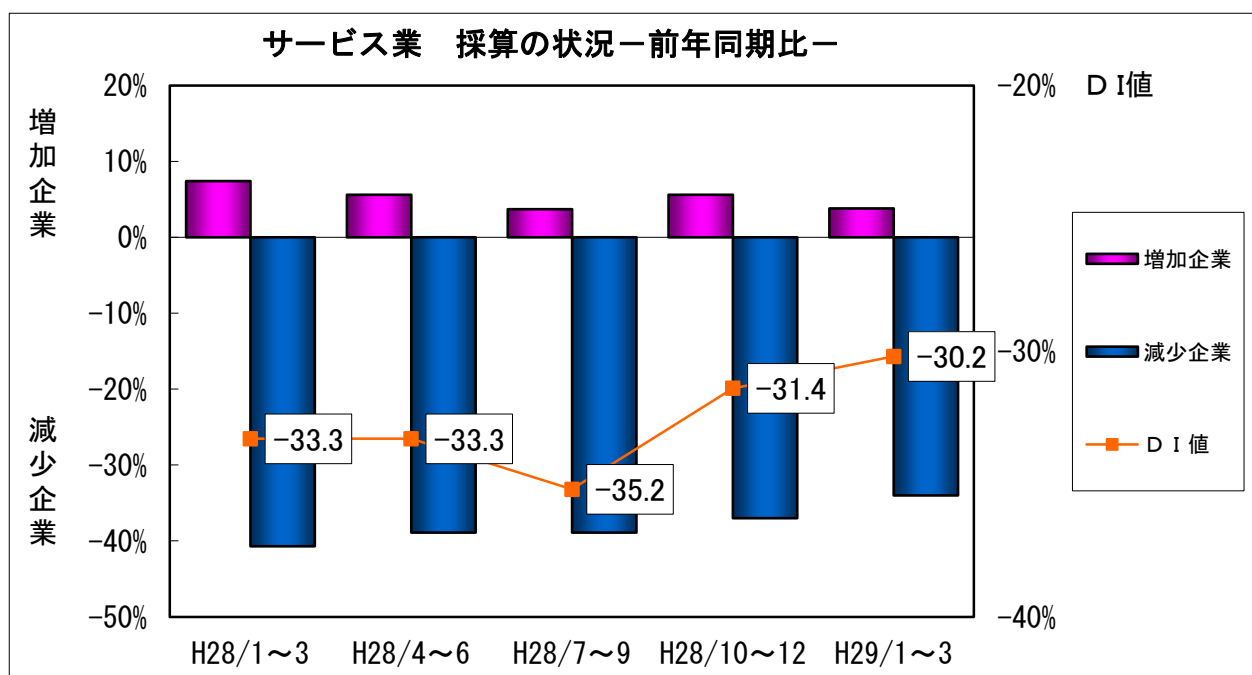
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額D I値は、▲22.2。前期の▲24.0から1.8ポイントの上昇となった。来期見通しは、▲24.1と下降の見込み。



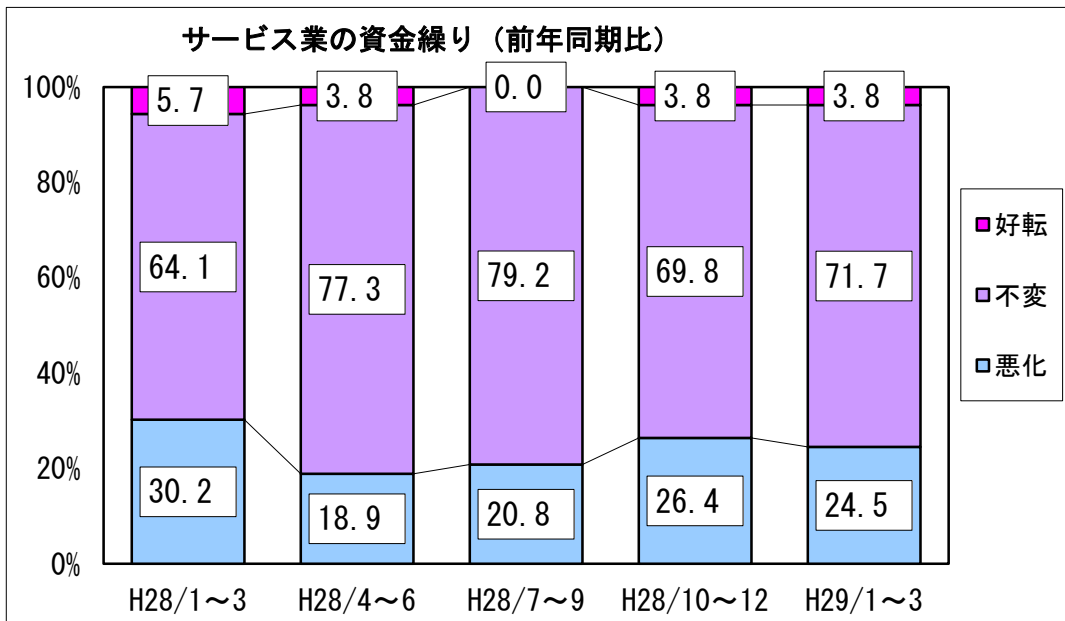
②採算（前年同期比）

今期の採算D I値は、▲30.2。前期の▲31.4より1.2ポイントと小幅ながら上昇した。来期見通しは、▲24.5と更に改善の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は、▲20.7。前期の▲22.6から1.9ポイント上昇した。来期見通しは▲18.9と改善の見込み

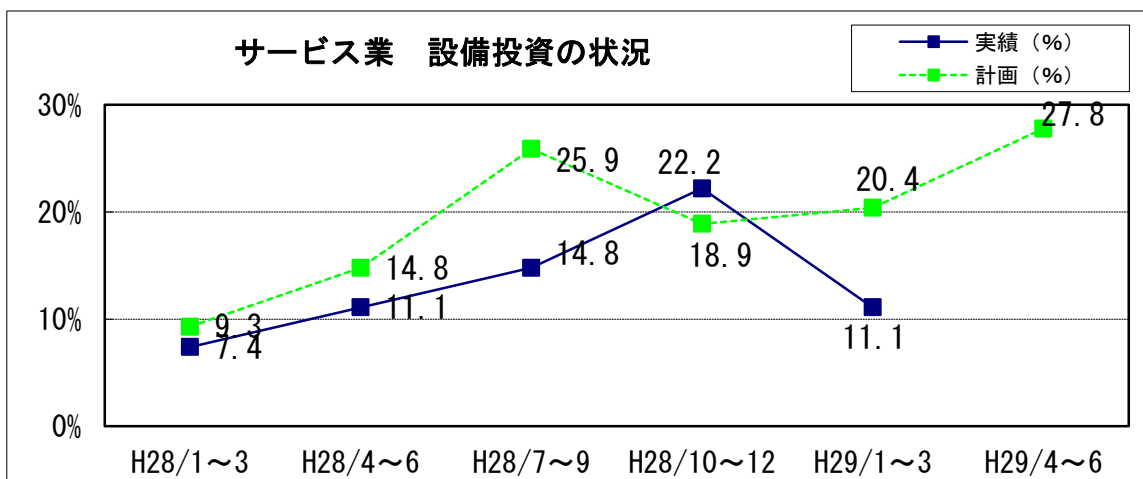


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	サービス	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	12	0	4	3	3	2	1	0	2	42
(%)	22.2	0.0	33.3	25.0	25.0	16.7	8.3	0.0	16.7	77.8
今期実施 (実数)	6	0	2	0	3	1	0	0	0	48
(%)	11.1	0.0	33.3	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	88.9
来期計画 (実数)	15	0	2	2	2	6	2	0	2	39
(%)	27.8	0.0	13.3	13.3	13.3	40.0	13.3	0.0	13.3	72.2

今期設備投資を実施した企業は6社（11.1%）。前期（平成28年10～12月期）は12社（22.2%）であった。来期は15社（27.8%）が設備投資を計画している。

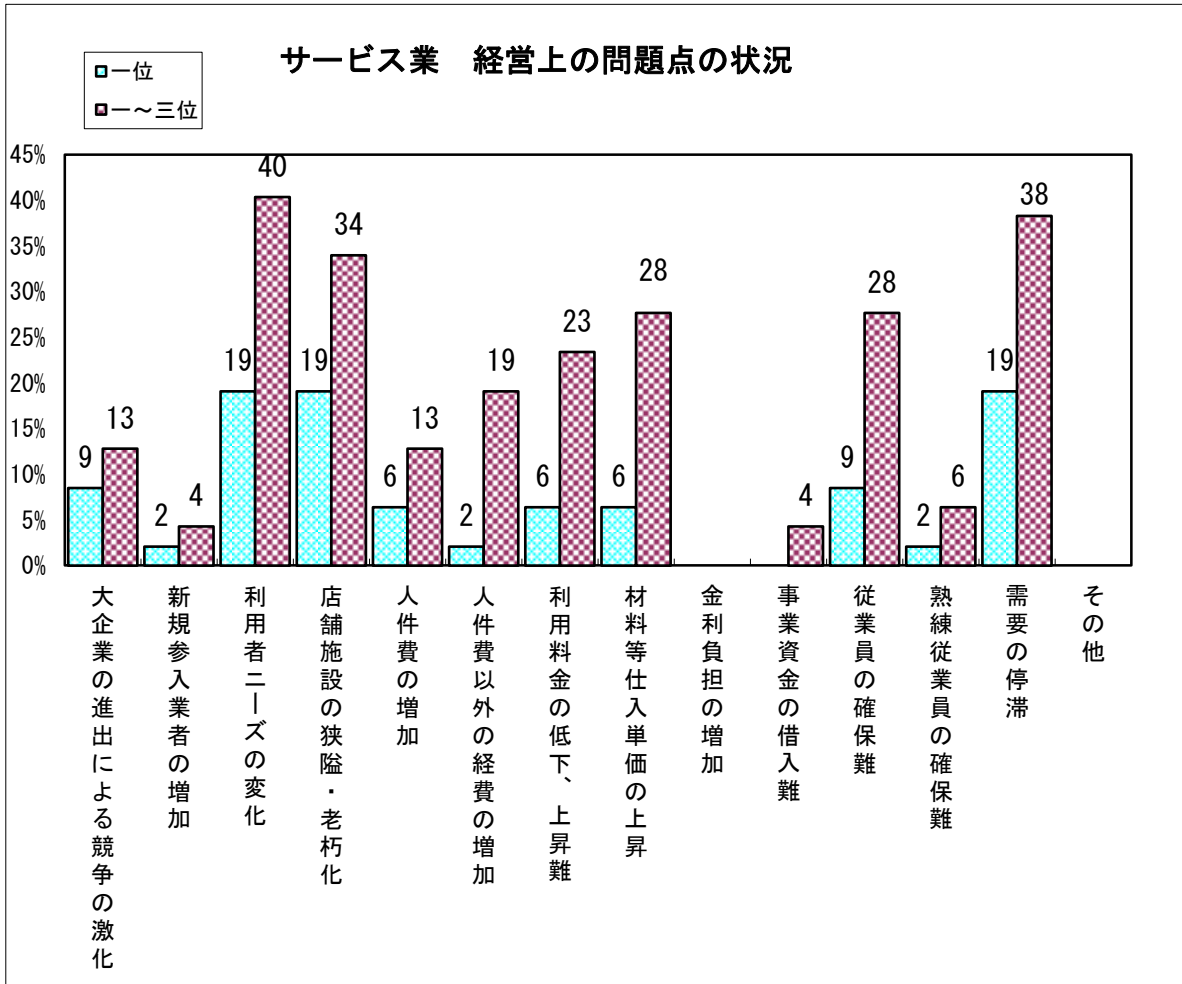


⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあがる項目は、

- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 46.9%→今期 40.4%)
- ・ 「需要の停滞」 (前期 38.8%→今期 38.3%)
- ・ 「店舗施設の狭隘・老朽化」 (前期 24.5%→今期 34.0%)

となっている。



以上